

エンジンスターター

VE-E800ps

アンサーバック Type

取扱説明書

保証書 (持込修理)		<無料修理規定>
本書は、本書記載内容(右記載)で、無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。		1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意事項に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
品番 VE-E800ps	S/No.	2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
お買い上げ 年 月 日	年 月 日	3. ご転居と贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
保証期間	お買い上げの日から3年 (リモコンは1年。電池などの消耗品は除く。)	4. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。 (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷 (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷 (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、損害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷 (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷 (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合 (ヘ) 本書のご提示がない場合 (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合 (チ) 同部品や消耗品等の消耗による交換
お客様 お名前		5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
ご住所		※ 本書を紛失しないように大切に保管してください。
TEL ()		※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。
販売店 店名・住所		
故障内容記入欄		

取り付け前のご注意

取り付けできる車両を、お確かめください。

弊社ホームページの車種別専用ハーネス適応表をご覧くださいか、ご相談窓口にお問い合わせください。

お客様ご自身で取り付けることはできません。

- ・本機は、販売店様やカーディーラー様での取り付けを対象としています。
- ・お客様ご自身での取り付けに関するサポートは行っておりません。
- ・お客様ご自身で取り付けられた場合は保証の対象外になります。

使用上のご注意

- ・周囲の安全を確認できる範囲で使用してください。
- ・病院内や航空機内など、使用禁止の場所では使用しないでください。
- ・心臓ペースメーカー等医療機器をご使用の方、持病のある方、妊娠の可能性または妊娠されている方は、医師にご相談ください。
- ・リモコンはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- ・シフトレバーは必ずパーキングの位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用してください。
- ・必ずボンネットが閉まった状態で使用してください。
- ・リモコンの改造はしないでください。
- ・リモコンや車両に貼ってあるラベルやステッカーは、はがさないでください。
- ・海外で使用しないでください。
- ・同梱品のボタン電池は、動作確認用のサンプルです。短時間の使用しかできません。
- ・指定のボタン電池以外は使用しないでください。また、新品と使いかけの電池やブランドが異なる電池を同時に使用しないでください。
- ・一般公道での使用、締め切った場所での使用はおやめください。
- ・地域により車両の停車中にみだりにエンジンを始動させた場合、条例等により罰則を受ける場合がありますので、ご注意ください。
- ・本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。

30

ページ

車内で「ピピピッ
ピピピッ」と鳴っ
ている場合

35

ページ

電池を交換する

40

ページ

エンジンをかける

47

ページ

エンジンを止める

52

ページ

エンジンスターター
の設定

58

ページ

こんなときは

確認とご注意

安全上のご注意 4

使用上のご注意 8

各部の名称と働き 9

- 1. 同梱品 9
- 2. 別売品 10
- 3. 同梱品・別売品の購入について 10

各機能について 11

- 1. 安全機能 11
- 2. スリープ機能 12

取り付け・接続

梱包内容の確認 13

取り付けの前に (安全上のご注意) ... 13

- 1. エレクトロタップの使いかた 14

基本接続図 16

取り付けと接続 17

- 1. 温度センサの接続 17
- 2. 専用ハーネス (必須別売品) の接続... 18

3. P・ポジション検出 19

4. イモビ対応アダプター (必須別売品)
の取り付け 21

5. オルタネータ線について 21

6. エンジン始動および停止の確認 22

7. 各検出線 (別売品) の接続 24

8. ジャンクションユニットの取り付け 27

9. 配線処理について 28

10. 「ご注意ステッカー」の貼り付け... 28

車内で『ピピピッ ピピピッ』と鳴って
いる場合 30

- 1. P・ポジション検出の設定手順 30

リモコンについて

リモコンについて 32

1. リモコンの表示について 32

2. 電界強度表示について 33

3. リモコンの上手な使い方 33

4. サイレント操作について 34

5. 電池残量表示 34

6. 電池交換 35

7. リモコンが紛失 / 故障したとき 36

基本的な使いかた

エンジン始動～停止までの手順 ... 40

- 1. エンジンの始動 40
- 2. エンジンの状態を確認する 44
- 3. アイドリング時間を延長する 46
- 4. エンジンの停止 47
- 5. 車両に乗る 48
- 6. ドアのロック / アンロック操作 49

カスタマイズして使う

エンジンスターターの設定 52

- 1. 設定項目一覧 52
- 2. 各設定項目の説明 54

エンジンスターターの特設設定 ... 56

- 1. 設定項目一覧 56
- 2. 各設定項目の説明 57

その他

故障かな?と思ったら 58

始動エラー音について 60

仕様 60

アフターサービスについて 61

保証書 裏表紙

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

● 危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **警告**：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

⚠ **注意**：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

絵表示について

❗ 必ず実行していただく「強制」内容です。

🚫 してはいけない「禁止」内容です。

⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

➡ 関連するページを示します。

● 安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

❗ **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞

- ・内部に異物が入った
- ・水に浸かった
- ・煙が出ている
- ・変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

➡ P.61「アフターサービスについて」

🚫 **サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および同梱品を分解したり、修理しないでください。**

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



🚫 **本機を火の中、電子レンジ、オープンや高圧容器に入れたり、加熱したりしないでください。**

破裂、発火や火傷の原因となります。

❗ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**

❗ **持病をお持ちの方や妊娠の可能性があるので、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**

🚫 **本機を次のような場所に保管しないでください。**

変色や変形、故障の原因となります。

- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

🚫 **穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。**

感電や故障の原因となります。

🚫 **病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。**

電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

⚠ 注意

🚫 **各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。**

故障の原因となります。

🚫 **濡れた手で操作しないでください。**

感電の原因となります。



🚫 **落としたり、強いショックを与えないでください。**

破損、故障の原因となります。

🚫 **結露したまま使い続けしないでください。**

故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

⚠ **本機は精密機械です。**

静電気 / 電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

● 本機の操作について

⚠ 警告

❗ **シフトレバーは必ずパーキング (P) の位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用してください。**

思わぬ事故の原因になり大変危険です。

❗ **リモコンはお子様の手の届かない場所に保管してください。**

お子様が勝手にエンジンを始動させ、事故の原因となります。

❗ **必ずボンネットが閉まっている状態で使用してください。**

エンジン部の作業中にエンジンが始動すると、大変危険です。

❗ **思わぬ事故を防ぐために、次のような場合は、必ずリモコンの電池を抜いてください。**

- ・ボンネットを開けるとき
- ・整備や車検などで車両を第三者に預けるとき
- ・本機の使用方法を理解されていない方が運転するとき
- ・長期間車両を使用しないとき

❗ **車両の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。**

❗ **あらかじめ駐車時には以下のことを守ってください。**

- ・ワイパー、ラジオ (オートアンテナ車の場合) を OFF にしてください。エンジン始動を行ったときに動き出すので危険です。また凍結した場合、モーターの損傷や車種別専用ハーネスのヒューズ切れを起こす恐れがあります。
- ・すべての窓を閉めてください。
- ・すべてのドアを施錠 (ロック状態) してください。
- ・坂道や傾斜地でご使用になるときや、冬期でパーキングブレーキを解除して使用するときには、必ず輪止めをしてください。

❗ **走行するときは、いったん本機でエンジンを停止させ、必ずエンジンスイッチで再始動してください。本機でエンジンを始動させた状態では走行できません。**

本機でエンジンを始動させた状態で走行すると、思わぬエンジンの停止や、ハンドルロック未解除のままの発進など、車両の安全装置が働かないまま動き出すなどの事態をまねく危険性があります。

- ❌ 車両のボディカバーをかけたまま使用しないでください。

発火や排気ガスによる中毒の恐れがあります。

- ❌ 換気の悪い車庫や屋内では、使用しないでください。

排気ガスによる中毒の恐れがあります。

- ❌ マフラーが雪で覆われるような降雪時に使用しないでください。

排気ガスが車内に充満して大変危険です。

- ❌ 暖機運転の直後にエンジン点検などを行わないでください。

火傷をする恐れがあります。エンジン停止後、少なくとも5分以上経過した後、十分注意して行ってください。

- ❌ 車両の近くに燃えやすいものがある場所では、使用しないでください。

発火の恐れがあります。

● ボタン電池について

⚠️ 警告

- ❌ リモコンのボタン電池は、お子様の手の届く場所に保管しないでください。

誤飲の恐れがあります。

⚠️ 注意

- ❗ 同梱品のボタン電池は、動作確認用のサンプルです。

短時間の使用しかできませんので、お早めに新品の電池と交換してください。

- ❗ ボタン電池を充電したり、分解しないでください。

破損や発火、故障の原因となります。

- ❌ ボタン電池の極性（+、-）を正しく入れてください。

- ❌ むやみに操作ボタンを押さないでください。

リモコンの電波は周辺環境により、思わぬ遠方まで届く場合があります。

- ❌ 本機でエンジンを始動した際は、シフトロック解除機能等による通常の運行操作以外でシフト操作をしないでください。

エンジンスターターの安全機能が働かず、思わぬ事故につながる場合があります。

- ❌ お子様などを車両に乗せたままでは、絶対に使用しないでください。

室内はエンジンスイッチでエンジンを始動した場合と同じ状態になり、大変危険です。

- ⚠️ 車両純正装備のストップランプが白熱球の場合、LEDストップランプへ交換すると、フットブレーキ検出機能が使用できないことがあります。

- ❌ 指定以外のボタン電池は使用しないでください。また、新品と使いかけボタン電池を同時に使用したり、ブランドが異なるボタン電池を同時に使用しないでください。

- ❌ ボタン電池を鍵やネックレス、コインなどの金属小物と一緒にポケットなどに入れないでください。

感電、ショートの原因となります。

● お手入れについて

⚠️ 注意

- ❌ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- ❌ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。

塗装面を傷めます。



- ・一般公道での使用、締め切った場所での使用はおやめください。
- ・地域により車両の停車中にみだりにエンジンを始動させた場合、条例等により罰則を受ける場合がありますので、ご注意ください。
- ・本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。

使用上のご注意

- ・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・取扱説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 電波法に関する注意

- ・リモコンやジャンクションユニットの技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- ・海外では使用しないでください。
- ・分解したり改造したりすることは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

■ 本機の機能に関する注意

- ・オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車[※]の一部では、本機のコンライトキャンセル機能が使用できない場合があります。その場合、夜間に本機を使用するときは、ライトスイッチを「OFF」にしておいてください。「AUTO」の状態では本機によりエンジン始動した場合、ライトが点灯して、エンジンが停止したあとも消灯しません。
※暗くなると、自動的にライトが点灯するシステムです。エンジンが停止したあと、降車のためにドアを開閉することでライトが消灯します。
- ・他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、通信範囲が狭くなる場合があります。
- ・オプション対応のドアロック(施錠)/アンロック(解錠)機能は、ラジオの送信所やテレビ塔、NTTのアンテナタワーなどの強電界となる付近では、通信範囲が狭くなったり、ドアロック・アンロックができない場合があります。また、電池が完全に消耗してしまうとリモコン操作ができなくなりますので、車両のキーは必ず携帯してください。エンジンスイッチでエンジンをかけているときは、リモコンからの操作は無効となります。また、本機は特定小電力無線を使用しているため、純正キーレスに比べてリモコン操作からロック/アンロックまでに時間がかかると感じる場合があります。
※車両から離れたときは、ドアのロックを確認してください。

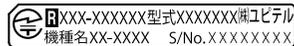
■ ご使用にあたっての注意

- ・車両から降りる際にワイパーなどの電源をOFFにしてください。ワイパーの凍結などで過大な負荷がかかると、専用ハーネスのヒューズが切れたり、車両を故障させることがあります。
- ・リモコンを持ち歩くときには、落下などの衝撃を与えないでください。
- ・リモコンは簡易防滴構造ですが、水につけたり、雨水などで濡れたりしないようにしてください。
- ・リモコンは、お客様の手の届かない場所に保管してください。
- ・リモコンを次のような場所に放置しないでください。
 - 暖房器具の近くやダッシュボードの上など、温度の高くなる場所。
 - 湿度の高い場所や、風通しの悪い場所。
 - ホコリや油煙の多い場所。
 - 非常に温度の低い場所。
- ・リモコンから通信を行うのと同時にジャンクションユニットからも通信が行われた場合、正常に通信できないことがあります。
- ・リモコン操作時、周囲に同じ周波数帯の電波が存在する場合、正常に通信できない場合があります。
- ・リモコンが汚れたときは、柔らかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気の起きやすいもの、またベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。
- ・ワイヤレスドアロックシステムやキーレスエントリーシステム装備車では、アイドリング中にドアのロック/アンロックができないことがあります。このようなときは、キーで操作してください。
- ・オートクルーズシステム搭載車や電動チルトステアリング・ドライビングポジションシステム装備車では、まれにこれらの機能が正常に動作しなくなることがあります。
- ・助手席にチャイルドシートを装着しているなどシートベルトが差し込まれた状態では、アイドリング中に本機のリモコンでドアのロック/アンロックができないことがあります。

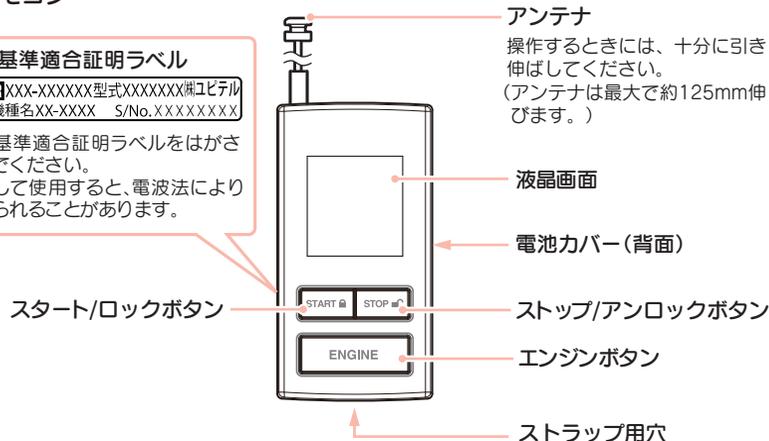
各部の名称と働き

■ リモコン

技術基準適合証明ラベル


 XXX-XXXXXX型式XXXXXX(副)モデル
 機種名XX-XXXX S/No. XXXXXXX

技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。
 はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。



アンテナ
 操作するときには、十分に引き伸ばしてください。
 (アンテナは最大で約125mm伸びます。)

1. 同梱品

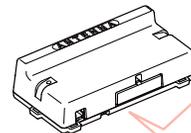
ご使用(取り付け)前に同梱品をお確かめください。

- リモコン用電池 CR2025 2個
- 取扱説明書/保証書(本書) 1部
※リモコンに装着済



以下の部品は、車両に取り付けられています。

- アンテナ内蔵ジャンクションユニット 1個
- 温度センサ 1個
- ご注意ステッカーシート 1枚
- 保護シート 1枚
- タイラップ 2個



2. 別売品

別売品との併用で、本機の機能がさらにアップします。

※ 必須別売品は必ずご購入ください。

※ 別売品については、予告なく仕様を変更したり、販売を終了する場合があります。あらかじめご了承ください。

■ 車種専用イモビ対応アダプター(必須別売品)

車種別のイモビ対応アダプターのセットです。

本アダプターは、エンジン始動が行えるキーを使用するタイプのイモビ対応アダプターです。取り付けの際には、車両のスペアキー(エンジンが始動できるキー)が1本必要です。

※ 適応車種限定…詳しくは、車種別専用ハーネス適応表を参照ください。

■ キーレスエントリー A-17SF

離れた場所から、本機リモコンでドアロック/アンロックができます。

※ 適応車種限定…詳しくは、車種別専用ハーネス適応表を参照ください。

※ 他の別売品のアダプターやドアロックハーネスが必要となる場合があります。

■ ハザード制御 A-18SF

本機でのエンジン始動時、ハザードランプを3回点滅させてエンジンがかかったことをお知らせします。また、本機でのドアロック/アンロック時に、ハザードランプを点滅(1回/2回)させることができます。

■ コンライトキャンセル A-60

オートライト機能搭載車でオートライト設定中でも、アイドリング終了後にライトを消灯させ、バッテリー上がりを防ぐことができます。

※ 一部の車両では、コンライトキャンセル機能が正常に機能しない場合があります。

■ ドア検出線 A-60

本機が動作中にドアを開けると、エンジンを停止させることができます。

3. 同梱品・別売品の購入について

- ・同梱品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「X X(機種名)用 ○○(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・当社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

各機能について

1. 安全機能

本機には、次の安全機能があります。

■ P・ポジション検出

シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジション以外のおときは、本機によるエンジンの始動や動作しません。また、リモコンによるエンジン始動後、ブレーキペダルを踏むとエンジンが停止します。



■ コンライトキャンセル機能(P.10)

(別売品: A-60 を使用して、車両に取り付けてください。)

■ ドア検出(P.10)

(別売品: A-60 を使用して、車両に取り付けてください。)

■ 誤動作防止 ID コード

1億通りの中から商品ごとに個別 ID コードを設定。他の電波による誤動作を防止します。

■ エンジン自動停止機能

本機でエンジン始動後、設定した時間を経過するとエンジンが自動停止します。

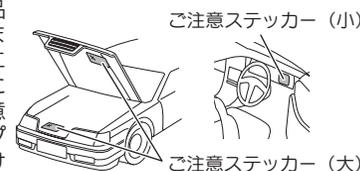
■ ダブルアクション操作

2つのボタンの組み合わせによるツータッチ操作だから、ポケットやバックの中での誤操作を防ぎます。

⚠ 警告

❗ 整備や車検などで、エンジン部を作業中に、突然エンジンが始動すると大変危険です。万一の事故を防ぐためにも、第三者に車両を預けるときは、リモコンの電池を抜いてください。

❗ 本機の取り付け後、安全のため、同梱品のステッカーを貼り付ける必要があります。「ご注意ステッカー(大)」は、エンジンルームを開けたときに、第三者にもわかるような目立つ場所に、「ご注意ステッカー(小)」はボンネットオープナーやその付近の目立つ場所に貼り付けられていることを確認してください。



ご注意ステッカー(小)

ご注意ステッカー(大)

2. スリープ機能

車両を使用しない状態が14日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。スリープ機能が働くと、本機によるエンジン始動はできません。スリープ機能を解除するときは、一度、車両本来の操作(エンジンスイッチ操作など)でエンジンを始動させてください。



※ 本機を長期間使用しないときは、リモコンの電池を抜いておきます。

■ 車両のバッテリーとエンジンスターター始動の関係

車両のバッテリーの性能が低下しているときは、エンジンスイッチで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。このようなときはバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

※ 車両のバッテリー交換を行った場合は、再度P・ポジション検出(▶ P.30)が必要です。

梱包内容の確認

取り付け前に梱包内容をお確かめください。(▶ P.9)

取り付けの前に(安全上のご注意)

⚠ 警告

安全のため、取り付けはお買い求めいただいた販売店様やカーディーラー様にご依頼ください。

- 本機は、販売店様やカーディーラー様での取り付けを対象としております。
- お客様ご自身での取付作業に対するサポートは行っておりません。
- お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

⚠ 警告

取り付けできる車両を、お確かめください。

本機を取り付けられる車両は車種専用イモビ対応アダプター(必須別売品)を使用できる車種のみです。適応する車種別専用イモビ対応アダプターがわからない場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。

- 次の3つの条件を満たしている車両に取り付けられます。
 - 車種専用イモビ対応アダプターの設定がある車両
 - オートマチック車(ATまたはCVT)
 - 12V車で、⊖ アースの車両

⚠ 警告

- ❗ 取り付け作業は、必ずエンジンがさめている状態のときに行ってください。火傷する恐れがあります。
- ❗ ジャンクションユニットの取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付けてください。
- ❗ ジャンクションユニットは、取り付け・接続後、しっかりと固定してください。運転中に落下すると大変危険です。
- ❌ マニュアル(MT)車、外国車には、取り付けできません。
- ❌ エアバッグシステムの配線およびコネクターには触れないでください。また、エアバッグの動作の支障となる場所に取り付けたり、配線しないでください。エアバッグが正常に作動しなかったり、事故やケガの原因となります。
- ❌ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や火災の原因となります。

イモビ対応アダプターの重要事項

- 必須別売品の車種専用イモビ対応アダプターは、エンジン始動が行えるキーを使用するタイプのイモビ対応アダプターです。取り付けの際には、車両のスペアキー（エンジンが始動できるキー）が1本必要です。
- 取り付け後に、車両のキーを増設（スペアキーを追加）する場合、イモビ対応アダプターに収納されているキーを取り出し、増設するキーと一緒に車両側に登録する必要があります。登録を行わないと、エンジンスターターでのエンジン始動ができません。（スペアキーの追加、登録作業はディーラー様で行ってください。）

⚠️ 取り付けに関する警告

- 本機は車両信号線に接続し動作します。誤った接続や不完全な取り付けは大変危険です。弊社ではお客様の安全確保の観点から、取り付けに関するご質問、お問い合わせ、情報提示は弊社指定の取り付け販売店様のみに限らせていただきます。お客様自身での取り付けに関しましては、一切お答えできません。あらかじめご了承ください。本機を取り付けたことによる、車両の故障や盗難については、一切その責任を負いません。

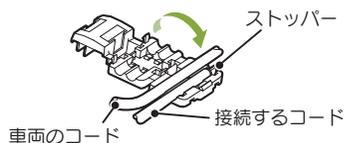
⚠️ 注意

- 市販品のターボタイマーと併用することはできません。
- オートクルーズシステム搭載車や電動チルトステアリング・ドライビングポジションシステム装備車では、まれにこれらの機能が正常に動作しなくなることがあります。
- ワイヤレスドアロックシステムやキーレスエントリーシステム装備車では、本機によるアイドリング中にドアのロック/アンロックができないことがあります。このようなときは、車両のキーで操作してください。

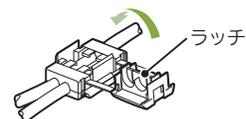
1. エレクトロタップの使いかた

各検出線は、以下の手順で接続してください。

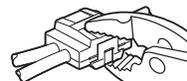
- 1-1 各検出線を図のストッパーに突きあて、車両のコードを通して矢印のように折り返す



- 1-2 もう一度、矢印のように折り返す



- 1-3 プライヤーなどで、ラッチが噛むまで締め付ける

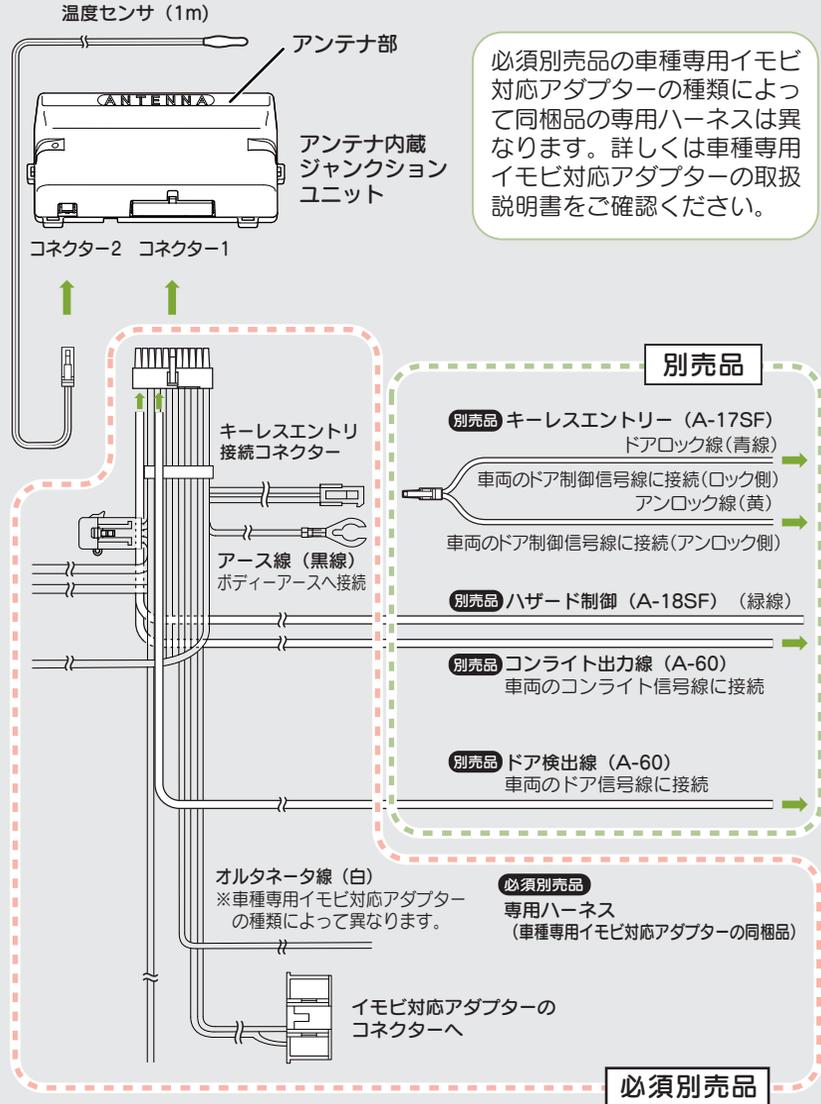


- 1-4 絶縁テープを巻く



※ 接続された箇所（エレクトロタップ部）は、ショートや振動などにより、車両のスターター系にトラブルを起こす原因となることがあります。必ず絶縁テープでテーピングしてください。

基本接続図



必須別売品の車種専用イモビ対応アダプターの種類によって同梱品の専用ハーネスは異なります。詳しくは車種専用イモビ対応アダプターの取扱説明書をご確認ください。

取り付けと接続

以下に記載された手順や注意事項にしたがって取り付けてください。

ご注意 ... 記載の内容は、標準的な車両での取り付け手順です。ご使用の車種や別売品によっては、記載の手順と異なる場合があります。弊社車種別専用ハーネス適応表にて品番や指定条件をご確認ください

ナビゲーションシステムやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーのマイナス端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

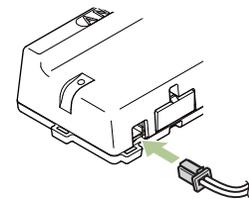
警告

- 安全に作業をしていただくため、取り付ける前に次の3つのことを必ず守ってください。
 - シフトレバーをP・ポジションにする
 - ショート事故やエアバッグの誤動作防止のため、バッテリーのマイナス端子を外す
 - パーキングブレーキを確実にかける

1. 温度センサの接続

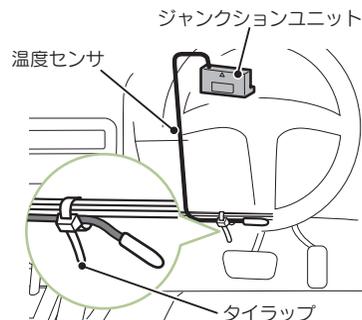
温度センサを接続し、本機リモコン操作でエンジン始動操作やエンジンの状態確認操作を行うと、エンジンの始動や状態表示に加えて、車室内温度を液晶画面に表示します。

1-1 温度センサをジャンクションユニットのコネクタ-2に接続する



※ 温度センサは先端部分が温度感知部になっています。ケーブルは切断せずに配線してください。

1-2 先端から5cmくらいのところ をタイラップで固定する



- ※ 先端部が他の配線やパネルに接触しないように少し浮かせて取り付けます。また、発熱する電子機器やエアコンの送風口から離れた場所に取り付けてください。
- ※ 車室内は場所により温度差があります。なるべく直射日光の当たらない場所に取り付けてください。

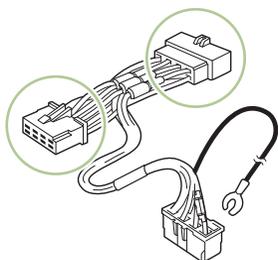
2. 専用ハーネス(必須別売品)の接続

本機はマニュアル・トランスミッション(MT)車や輸入車など、適応車種以外の車両には取り付けできません。誤って取り付けると、大変危険です。また、取り付けは専門知識のある販売店様またはカーディーラー様にご依頼ください。

⚠ 注意

- ・ 走行中の振動などでコネクタが抜けないよう、しっかりと接続してください。
- ・ 配線類は、噛み込みや被覆の摩擦によるショートを防ぐため、ステアリング シャフトやチルト機構、シフトレバー等の稼動部を避け処理を行ってください。
- ・ 車体金属部やネジ、エッジ部分に接触する可能性がある配線は、同梱品の保護シートで配線の保護を行ってください。
- ・ アース線は、オーディオやナビゲーションなど、他の電装品と同じビスなどに取り付けしないでください。機器が誤作動したり、オーディオのメモリーが消失する恐れがあります。

2-1 専用ハーネス(車種専用イモ ビ対応アダプターの同梱品) を接続するコネクタを探す



- ※ 形状は、専用ハーネスの車両側のコネクタ(○印部)を参考にしてください。

2-2 車両側のコネクタを外し、外 したコネクタ間を専用ハーネ ス(車種専用イモビ対応アダ プターの同梱品)で接続する

2-3 専用ハーネス(車種専用イモビ 対応アダプターの同梱品)か ら出ているアース線を、車両の 塗装されていない既存のビスな どにしっかりと共締めする

3. P・ポジション検出

本機は、P・ポジション検出をしないと動作しません。

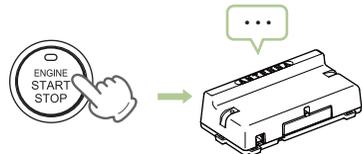
接続が正しく行われていることを確認し、バッテリーのマイナス端子を繋いでください。

3-1 専用ハーネス(車種専用イモ ビ対応アダプターの同梱品) をジャンクションユニットの コネクタ 1 に接続する

ジャンクションユニットから『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』という確認音が鳴ります。

3-2 シフトレバーがパーキング(P)・ ポジションになっていることを 確認し、ブレーキペダルから足 を離したままエンジンスイッ チを OFF → ACC → ON と切り 替える

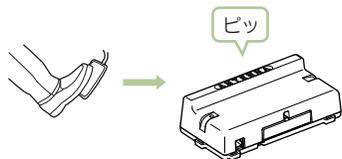
ジャンクションユニットの確認音が止まります。



※ ブレーキペダルを踏んだままエンジンスイッチを ON にすると、正しく設定できないことがあります。

3-3 ブレーキペダルを踏み込む

ジャンクションユニットから『ピッ』音が鳴ります。



3-4 ブレーキペダルから足を離す

ジャンクションユニットから『ピ
□□□...』音が鳴ります。

以上で P・ポジション検出は終了です。

「4. イモビ対応アダプター(必須別売品)の取り付け」(● P.21)へ進んでください。

4. イモビ対応アダプター(必須別売品)の取り付け

本機は、イモビ対応アダプターの接続をしないと動作しません。

取り付け・接続に関しては、車種専用イモビ対応アダプターの取扱説明書をご確認ください。

イモビ対応アダプター取り付け完了後、
「5. オルタネータ線について」へ進んでください。

5. オルタネータ線について

- ・車種別専用ハーネス適応表でオルタネータ線の接続が指定されている車種の場合は、必ずオルタネータ線を接続してください。
- ・車種や電装品によっては、エンジンの始動確認ができず、再始動を繰り返すことがあります。このような場合は、オルタネータ線を接続することで、より確実な始動判定を行うことができます。

※ 車種専用イモビ対応アダプターの種類によってオルタネータ線は異なります。

オルタネータ線を接続しない場合は、

「6. エンジン始動および停止の確認」(● P.22)へ進んでください。

オルタネータ線の接続

接続先は車種により異なります。販売店様向けの接続情報をご確認ください。

※ 多くの車種は、エンジンスイッチが ON 時 (エンジン始動前) に 0 ~ 2V、エンジン始動後に約 6V 以上となる車両配線 (L 端子) が接続先になります。

※ 接続後には、接続部を必ず絶縁テープでテーピングしてください。

6. エンジン始動および停止の確認

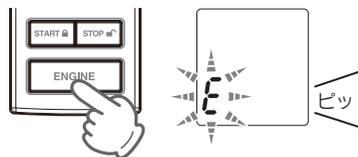
■ エンジンを始動させる

リモコンでエンジンが始動できるか確認します。

※ 車両のキーは車外へ移動させてください。

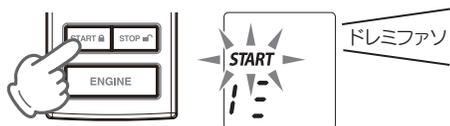
6-1 操作確認音「ピッ」が鳴るまでエンジンボタンを押す

“E”が点滅します。



6-2 “E”が点滅中(約3秒間)に、「ドレミファソ」が鳴るまでスタートボタンを押す

“START”が点灯し、送信アニメーションが表示され、信号を送信します。



エンジンが始動します。

アイドリング中はジャンクションユニットから断続音が鳴り続けます。(本機でエンジンを始動させたことを知らせます)

※ 始動しなかったときは、リトライ機能が働きます。

※ 始動後、設定されている時間が経過すると自動的にエンジンは停止します。

● P.54「アイドリング時間の設定」

※ 車種や電装品によってはエンジンの始動確認ができず再始動(リトライ)を繰り返す場合や、エンジンが始動してもしばらくすると停止する場合があります。

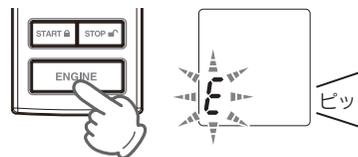
- ・ エンジンの始動確認ができず再始動(リトライ)を繰り返す場合や、エンジンが始動してもしばらくすると停止する場合
始動判定方法選択を「特殊判定」に変更してください。(● P.57「始動判定方法選択」)
- ・ 始動判定方法選択を「特殊判定」に変更し、エンジンが始動してもしばらくすると停止する場合
オルタネータ線の接続が必要です。(● P.21「オルタネータ線について」)
- ・ エンジンが始動しない場合
取り付け状態やエンジンスターターの設定を再度ご確認ください。

■ エンジンを停止させる

リモコンでエンジンの始動が確認できたら、リモコンでエンジンを停止させます。

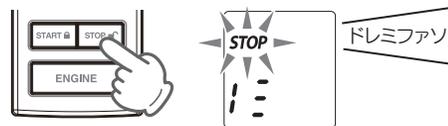
6-3 操作確認音「ピッ」が鳴るまでエンジンボタンを押す

“E”が点滅します。



6-4 “E”が点滅中(約3秒間)に、「ドレミファソ」が鳴るまでストップボタンを押す

“STOP”が点灯し、送信アニメーションが表示され信号を送信します。



別売品を取り付ける場合は、

「7. 各検出線(別売品)の接続」(● P.24)へ進んでください。

別売品を取り付けない場合は、

「8. ジャンクションユニットの取り付け」(● P.27)へ進んでください。

7. 各検出線(別売品)の接続

別売品の接続を行います。

※ 車両側配線に接続する場合は、必ずテスターを使用してください。

■ ドアロック / アンロック線の接続：キーレスエントリー(A-17SF)

センサーハーネスのキーレスエントリー接続コネクタにキーレスエントリー：A-17SF(別売品)を接続します。ただし、車種ごとにコントロールが異なるため、別売品の接続が必要となる場合があります。詳しくは弊社エンジンスタート-車種別専用ハーネス適応表でご確認ください。

■ コンライト出力線の接続：コンライト出力線(A-60)

・コンライト出力線を接続する前に

ライトスイッチを AUTO にし、エンジンを始動してください。

次に車両を暗い場所または照度検出センサに光が入らないようにしてください。

その後エンジンを切り、ドアを開けたときにライトが消灯しますか？消灯しない車両は、コンライト制御はできません。

※ エンジンを切ると同時にライトが消灯する場合は、コンライト出力線(別売品)を接続する必要はありません。

7-1 コンライト出力線の接続先を探す

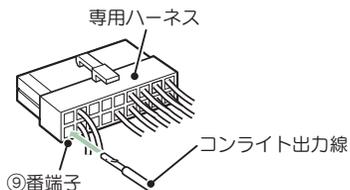
・コンライト出力線の接続先

ほとんどの場合、ドアスイッチの配線に接続します。

一部車種ではドアスイッチの配線が3～4本の車種もあり、判断しにくい場合があります。このようなときには、コンライト使用状態にし、各線をアースにおとして、コンライトが消灯した線に接続してください。

7-2 エレクトロタップを使って、コンライト出力線を接続する (P.14)

7-3 コンライト出力線を専用ハーネス(車種専用イモビ対応アダプターの同梱品)の⑨番端子にしっかりと差し込む

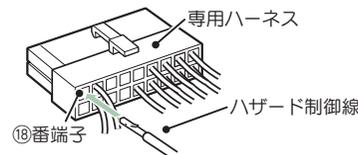


■ ハザード制御の接続：ハザード制御(A-18SF)

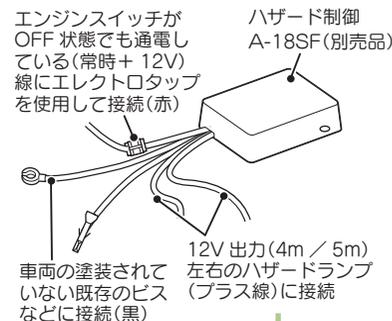
本機のリモコン操作でエンジンを始動すると、エンジン始動検出後にハザードランプを3回点滅させてお知らせします。また、本機によるエンジン始動中にも、リモコン操作によりアイドリング状態(3回点滅)の確認ができます。

※ ハザードランプの制御はエンジンスタートが行いますので、緑線(4mと5m)は直接左右のハザードランプに接続してください。

7-1 ハザード制御：A-18SF(別売品)のハザード制御線(ピン端子付緑線)を、専用ハーネス(車種専用イモビ対応アダプターの同梱品)の⑱番端子にしっかりと差し込む



7-2 ハザード制御：A-18SF(別売品)の+電源、アース線、ハザードランプ線を接続する



※ エレクトロタップの接続は、P.14 を参照ください。

※ ハザードランプの制御はエンジンスタートが行いますので、緑線(4mと5m)は直接左右のハザードランプに接続してください。

・ピン端子のない緑線は、それぞれ左右のハザードランプに接続します。

緑線(2本：4mと5m)は長さが異なります。2本の長さを比べ、短い方(4m)をメインユニットに近いランプに接続してください。また、車両によっては左右、前後が別系統の配線になっていることがあります。このような場合は、緑線を分岐して各ランプに接続してください。



■ ドア検出線の接続：ドア検出線(A-60)

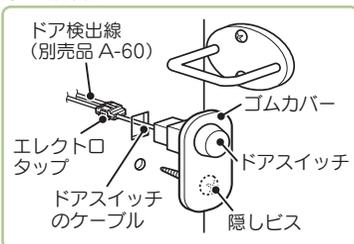
車両のドアスイッチケーブルなどに接続することにより、ドアを開けたときにアイドリングを停止させることができます。

7-1 ドア検出線の接続先を探す

※ 接続先はサーキットテスターで確認してください。
(ドア開時…0V、ドア閉時…12V)

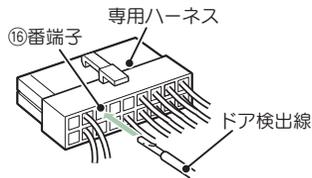
7-2 エレクトロタップを使って、ドアスイッチケーブルなどにドア検出線を接続する

ドア部詳細



※ エレクトロタップの接続は、
● P.14 を参照ください。
※ 一部の車種では、ドア内にスイッチが入っています。このような場合は、ルームランプなどのドアに連動して信号が発生するケーブルに取り付けてください。
※ ルームランプなどの信号線にドア検出線を接続する場合は、ドアが開いた状態で必ずルームランプが点灯するように、ルームランプスイッチを設定してください。

7-3 ドア検出線を、専用ハーネス(車種専用イモビ対応アダプターの同梱品)の⑩番端子にしっかりと差し込む



[8. ジャンクションユニットの取り付け](● P.27)へ進んでください。

8. ジャンクションユニットの取り付け

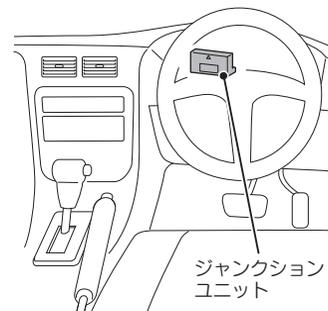
⚠ 注意

ジャンクションユニットは、タイラップや両面テープなどを使用して、運転の妨げとならないように、インパネの内側など、できるだけ高い位置にしっかりと固定し、タイラップなどを使用して配線処理をしてください。

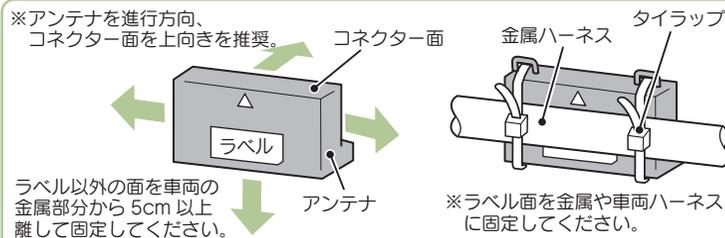
その他の場所に設置する場合は、次のような場所は避けてください。

- ・ エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・ 直射日光の当たる場所。
- ・ 不安定な場所。

8-1 市販品の両面テープを使って仮取り付けした後、固定する



※ 走行中の振動で容易に外れないように同梱品のタイラップで、ジャンクションユニットを固定してください。
※ ジャンクションユニットのラベル以外の面を車両の金属部分から5cm以上離して固定してください。通信距離が短くなったり、通信が不安定になることがあります。

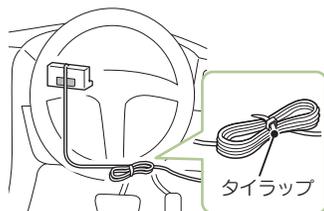


9. 配線処理について

すべての取り付けが終わったら、以下の要領で配線処理をしてください。
配線処理は、ケーブル類の長さ、配線場所などを十分考慮して決めてください。

■ タイラップによる配線処理

ダッシュボード内を通るケーブル類は、既存のハーネスなどに市販品のタイラップを用いて共締めします。余分なケーブルは束ねて共締めしてください。



■ ドアのすき間から車内に線を引き込んだ場合

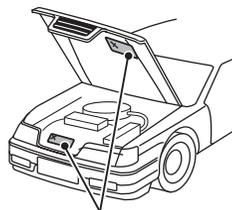
ドアの開閉時に線を噛まないように少したるみをもたせて配線処理をしてください。

10. 「ご注意ステッカー」の貼り付け

本機を取り付けた車両を、第三者が使用した場合にも安全にお使いいただくため、同梱品のステッカーを必ず貼り付けてください。

■ ご注意ステッカー(大)の貼り付け

ボンネットの裏側で、エンジンの熱を直接受けしない場所に目立つように貼り付けます。(ワンボックスカーの場合はエンジンルームの開閉カバー)



ご注意ステッカー (大)

■ ご注意ステッカー(小)の貼り付け

ボンネットオープナーなどに目立つように貼り付けます。(ワンボックスカーの場合はエンジンルームのオープナー)



ご注意ステッカー (小)

必要に応じてセル時間、アイドリング時間等を設定します。
(P.52 「エンジンスターターの設定」)
設定後、エンジンの始動、ドアロック動作を確認します。

ユピテルご相談窓口

製品の取り付け、取り扱いなどでご不明な点がございましたら、
お客様ご相談センター

0564-45-6515

までお問い合わせください。

※お客様ご自身での取り付け作業に対するサポートは行っておりません。

受付時間 9:00～17:00

月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

⚠ 警告



- エアバッグ上やエアバッグの妨げとなる場所に取り付けたり、配線しないでください。エアバッグが正常に動作しなかったり動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。
- 運転や視界の妨げにならない場所、または自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付け・配線をしてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

⚠ 注意



- 取り付けは確実に行ってください。落ちたりしてケガの原因となります。
- 地域により車両の停車中にみだりにエンジンを始動させた場合、条例等により罰則を受ける場合がありますので、ご注意ください。

お願い

車両の引き渡し時には、お客様に接続・設定の状況と操作の説明、特に安全機能の説明を十分に行ったうえで、本書をお渡しください。

車内で『ピピピッ ピピピッ』と鳴っている場合

バッテリー上がりやバッテリー交換、専用ハーネス（車種専用イモビ対応アダプターの同梱品）の取り外し等で常時電源が断たれた場合は、ジャンクションユニットから『ピピピッ ピピピッ・・・』が鳴り、P・ポジションの設定がリセットされたことを知らせます。

※ P・ポジションがリセットされると、リモコン操作がエラーとなり、本機によるエンジン始動ができません。

※ 本機への常時電源が断たれた場合でも、本機に登録された設定内容は消去されません。

下記の手順で P・ポジションの検出・設定を行ってください。

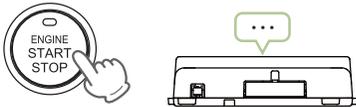
1. P・ポジション検出の設定手順

『ピピピッ ピピピッ ピピピッ・・・』音が鳴っている状態で、以下の手順で設定を行ってください。

※ 何も音が鳴っていない場合は、専用ハーネス（車種専用イモビ対応アダプターの同梱品）の取り付け状態やアース線の接続場所を再度確認してください。

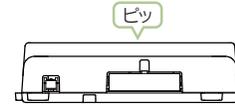
- 1-1** シフトレバーがパーキング(P)になっていることを確認し、ブレーキペダルから足を離したまま、エンジンスイッチを OFF → ACC → ON と切り替える

ジャンクションユニットからの『ピピピッ ピピピッ ピピピッ・・・』音が止まります。



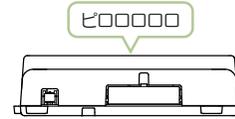
※ ブレーキペダルを踏んだままエンジンスイッチを ON にすると、正しく設定できないことがあります。

- 1-2** ブレーキペダルを踏み込み、確認音『ピッ』が鳴るか確認する



※ 車両のブレーキランプがもともと白熱球の場合、LED 電球に交換すると、ブレーキペダル操作による P・ポジション検出ができないことがあります。

- 1-3** ブレーキペダルから足を離す
『ピ〇〇〇〇・・・』音が鳴ります。



■ 以上で設定完了です。

エンジンスイッチを OFF にし『ピピピッ ピピピッ ピピピッ・・・』音が鳴らないことを確認してください。

『ピピピッ ピピピッ ピピピッ・・・』音が鳴りやまない場合、P ポジション検出ができていません。その場合は、接続先をご確認のうえ手順 1-1 から設定をやり直してください。

リモコンについて

1. リモコンの表示について

リモコンのエンジン・スタート・ストップボタンのいずれかを押し、液晶画面が約3秒間点灯(点滅)します。

また、電波を受信した場合は、動作に応じた液晶画面が約3秒間点灯(点滅)してお知らせします。

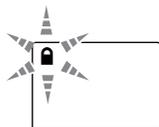
- ・液晶画面は点灯(点滅)後、バッテリーセーブのため消灯します。
- ・気温が0℃以下になると液晶表示が薄くなったり、表示されないことがありますが、エンジンの始動・停止等のリモコン操作には問題ありません。

「点灯」・「点滅」の表示について

本書では「点灯」・「点滅」を次のように表示しています。



点灯の表示例

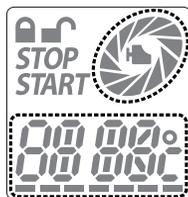


点滅の表示例

■ アニメーション表示について

リモコンの液晶画面には本機によるエンジンの始動や停止およびリモコンから電波が送信される様子を表すアニメーションが表示されます。

※液晶画面のイラストは、説明のためのものです。実際の画面とは異なります。



羽ピクトの例(エンジンの状態を表すアニメーション)



送信アニメーション



受信待ちアニメーション



※これらのアニメーションは、リモコンからジャンクションユニットへの通信イメージです。実際の通信状況やエンジン回転数を表すものではありません。

2. 電界強度表示について

ジャンクションユニットからの電波を受信した時に、電波の強さを点滅して表示します。

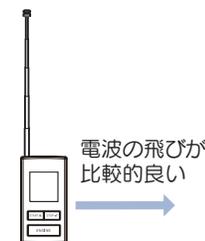


3. リモコンの上手な使い方

リモコンを操作するときは、安定した通信距離を確保するために、次のことを守ってください。

■ 通信が正常にできない場合、エラー音「ピー」が鳴り、「ER」が点滅します。このような場合は、以下のことをお試しください。改善される場合があります。

- ※ 車両とリモコンの間に障害物がなくなるような方向に車両を駐車してください。障害物により電波が遮断されることがあります。
- ※ リモコンの右側面を車両に向けて操作してください。通信距離が伸びることがあります。

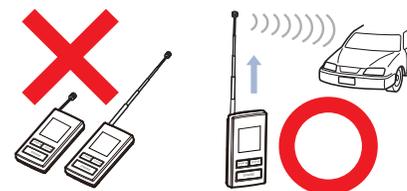


■ リモコンのアンテナを手で覆わないでください。

- ※ 電波が飛びにくくなります。



■ リモコンのアンテナは完全に引き出し、垂直に立てて操作してください。



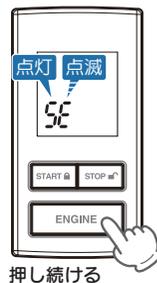
4. サイレント操作について

リモコンを操作するとき、最初の操作を変更すると一時的にリモコンからの音を鳴らなくすることができます。設定の変更により、常に音を鳴らさないようにすることもできます。(P.55「サイレントモードの設定」)

■ 一時的に音を鳴らさない場合

リモコンの操作するとき、エンジンボタンを“SE”が表示(“S”が点灯、“E”が点滅)するまで押し続ける(約3秒間)と、一時的に、リモコンから音を鳴らすことなく、リモコン操作が行えます。

※ 最初のエンジンボタンを押す時に一度だけ「ピッ」と鳴ります。



押し続ける

5. 電池残量表示

エンジン始動、エンジン停止、エンジン状態確認、ドアロック、ドアアンロック操作時にリモコンの電池の残容量が一定以下になったことをお知らせします。

・第1キー操作時に電池残量判定を行い、電池残量が少ない場合はバックライトを早く点滅させ、第1キー操作音を鳴らしません。

・受信待ちアニメーション表示中は、バックライトがゆっくり点滅します。

※ 第2キー以降の操作は通常と同じです。

※ 電池残量が少なくなったお知らせが出た後でも、電池の状態によっては、再度操作した際にお知らせが出ない場合があります。

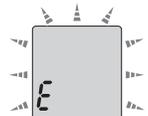
⚠ 注意

バックライトが点滅したら、すみやかに新しい電池と交換してください。

❗ 電池寿命が近づくと、第2キー以降の操作を行っても、ジャンクションユニットとの通信ができず、エラー表示“ER”が出て操作を完了できません。

第1キー操作が

■ エンジンボタン



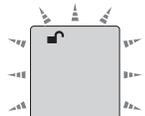
バックライト点滅

■ スタートボタン



バックライト点滅

■ ストップボタン



バックライト点滅

6. 電池交換

電池を交換するときは下記の手順で電池を装着してください。

電池交換中は車両周囲の安全を確認のうえ、不意なエンジン始動には十分にご注意ください。

⚠ 警告



使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・火傷の原因となることがあります。

また、事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

6-1 電池カバーを開ける



・電池の交換時期について

バックライトが点滅したら、電池寿命です。早めに新しい電池と交換してください。

・電池寿命の目安

約1年を目安に新しい電池(CR2025 2個)と交換してください。(1日10回使用時)

※ 使用する条件によって異なります。

※ 同梱品(リモコンに装着済み)の電池はモニター用です。モニター用の電池は、記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。

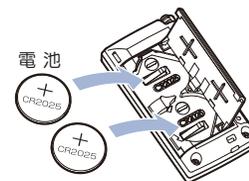
※ 指定の電池(CR2025)以外は使用しないでください。

※ 電池を取り出しても、リモコンの設定内容は消去されません。

6-2 電池を取り出す



6-3 電池(CR2025)を図のように入れる



※ リモコンを分解したり改造することは、電波法で禁止されています。

6-4 電池カバーを閉める

7. リモコンが紛失 / 故障したとき

リモコンの紛失や故障などの場合は、新たなリモコンを登録することができます。

※ リモコンは取り寄せ品となるため、お時間を頂戴する場合があります。あらかじめご了承ください。

同梱品のリモコンは、登録する必要はございません。そのままご使用いただけます。

※ リモコンの登録は登録 1、登録 2 のどちらかの方法で行ってください。両方を行う必要はありません。

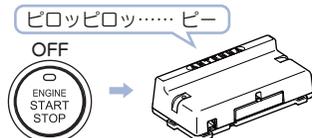
■ リモコンの登録方法 1

7-1 車両のキーを車内に持ち込み、ブレーキペダルを踏まずに、7.5 秒以内に OFF → ACC → ON → OFF を 3 セット繰り返す



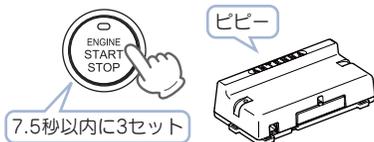
※ 7.5 秒を超えると登録がキャンセルされます。

7-2 OFF の状態で『ピロッピロッ』音が 10 秒間鳴り、最後に『ピー』と鳴る



※ 『ピロッピロッ』音が鳴っている時にエンジンスイッチを操作すると登録がキャンセルされます。

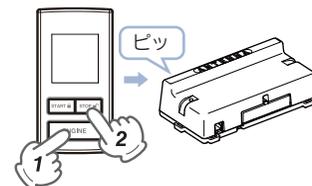
7-3 『ピー』と鳴ってから、ブレーキペダルを踏まずに、7.5 秒以内に OFF → ACC → ON → OFF を 3 セット繰り返す
ジャンクションユニットから『ピー』と鳴ります。



※ 7.5 秒を超えると登録がキャンセルされます。

7-4 『ピー』と鳴ってから 20 秒以内に、登録を行うリモコンからエンジン停止操作を行う

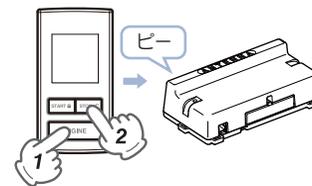
ジャンクションユニットから『ピッ』と鳴ります。リモコンからはエラー音『ピー』が表示します。



・エンジン停止操作
エンジンボタンを押し“E”が点滅中にストップボタンを押す。
※ ジャンクションユニットが『ピッ』と鳴らないときは、再度 7-1 の操作からやり直してください。

7-5 20 秒以内に、再度エンジン停止操作を行う

ジャンクションユニットから『ピー』と鳴り、登録完了となります。リモコンからはエラー音『ピー』が鳴り、“ER”を表示します。

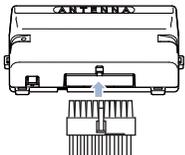


・エンジン停止操作
エンジンボタンを押し“E”が点滅中にストップボタンを押す。
※ ジャンクションユニットが『ピッ』と鳴らないときは、エンジンスイッチを OFF にして再度 7-1 の操作からやり直してください。

■ リモコンの登録方法 2

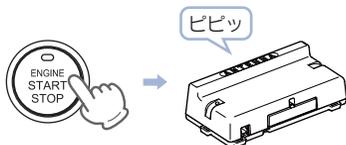
7-1 ジャンクションユニットからコネクター 1 を外し、再度接続する

『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』と確認音が連続して鳴ります。



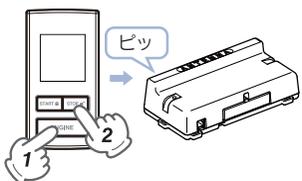
7-2 車両のキーを車内に持ち込み、OFF → ACC → ON と切り替える

ジャンクションユニットから『ピピッ』と鳴ります。



7-3 『ピピッ』と鳴ってから 20 秒以内に、登録を行うリモコンからエンジン停止操作を行う

ジャンクションユニットから『ピッ』と鳴ります。リモコンからはエラー音『ピー』が鳴り、“ER”を表示します。

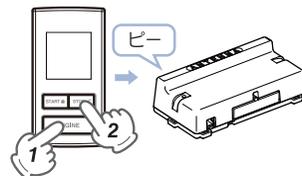


・エンジン停止操作
エンジンボタンを押し“E”が点滅中にストップボタンを押す。

※ ジャンクションユニットが『ピッ』と鳴らないときは、エンジンスイッチを OFF にして再度 7-1 の操作からやり直してください。

7-4 10 秒以内に、再度エンジン停止操作を行う

ジャンクションユニットから『ピー』と鳴り、登録完了となります。リモコンからはエラー音『ピー』が鳴り、“ER”を表示します。



・エンジン停止操作
エンジンボタンを押し“E”が点滅中にストップボタンを押す。

※ ジャンクションユニットが『ピー』と鳴らないときは、エンジンスイッチを OFF にして再度 7-1 の操作からやり直してください。

7-5 もう一度エンジンスイッチを押し OFF にする

リモコン登録後、続けて「P・ポジション検出」(P.30)を行ってください。

エンジン始動～停止までの手順

下記の手順に沿って操作を行います。



■ エラーについて

本機リモコン操作（エンジンの始動、停止、状態確認、アイドリング時間の延長、ドアのロック/アンロック）をしたときに、ジャンクションユニットからの信号を受信できないと、“ER”が点滅してリモコンからエラー音「ピー」が鳴ります。

このような場合は、場所を変えてもう一度リモコン操作を行ってください。

（☛ P.33 「2. 電界強度表示について」）



<エラー表示>

1. エンジンの始動

⚠ 注意

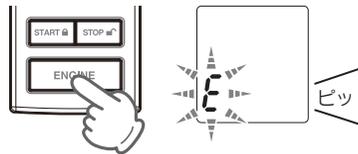
降雪時や寒冷地で車両を駐車するときは…

- ❗ 車両を駐車するときはワイパーなどの電源をOFFにしてください。本機でエンジン始動の際、ワイパーの凍結などにより過大な負荷がかかり専用ハーネスのヒューズが切れる恐れがあります。

本機のリモコンでエンジンを始動する方法は、以下のとおりです。

1-1 操作確認音「ピッ」が鳴るまでエンジンボタンを押す

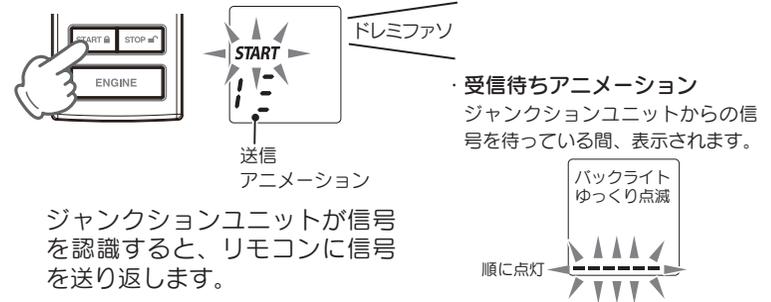
“E”が点滅します。



・リモコンの詳細は…
☛ P.32 「リモコンについて」

1-2 “E”が点滅中（約3秒間）に、『ドレミファソ』が鳴るまでスタートボタンを押す

“START”が点灯し、送信アニメーションが表示され、信号を送信します。



ジャンクションユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

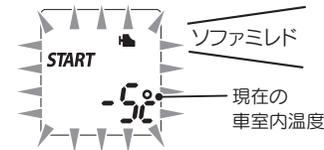
ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音「ソファミレド」と鳴ります。

※ 電波状態によって送受信がすぐに行われる場合があります。その場合、「ドレミファソ」、「ソファミレド」が連続して聞こえることがあります。

■ 車室内温度表示設定 ON 時のアンサーバック

現在の車室温度を表示したあと、表示は消え、エンジン始動確認信号の受信を待ちます。



■ 車室内温度表示設定 OFF 時のアンサーバック

“OK”を表示したあと、表示は消え、エンジン始動確認信号の受信を待ちます。



※ 車室内温度表示設定のON/OFFについては、☛ P.55 を参照ください。

エンジンの始動を行います。

・車両のバッテリーの性能が低下していると…
エンジンスイッチで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。

エンジンが始動すると

エンジン始動を検出して、始動確認の信号をリモコンに送ります。
※ 別売品のハザード制御：A-18SF(● P.10)を接続していると、ハザードランプが3回点滅して、エンジンの始動をお知らせします。

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ドレミファソファミレド』と鳴り、エンジン始動アニメーションとアイドリング設定時間を表示します。
※ アイドリング時間の設定については、 ● P.54「アイドリング時間の設定」を参照ください。

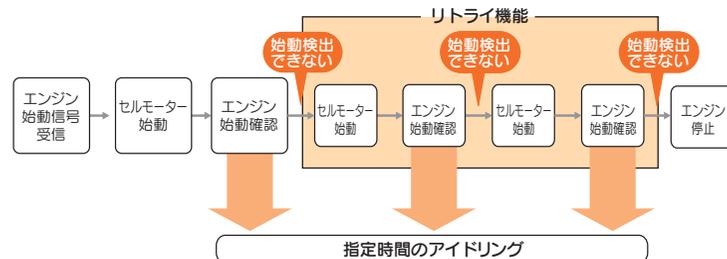


・アイドリング中は…
『ピッピッピッ』とジャンクションユニットから連続して音が鳴り、本機動作によりアイドリングしていることをお知らせします。

※ エンジンが始動できないと、リトライ機能が動きます。(● P.43)

■ リトライ機能について

エンジンが始動できなかったときに、再始動(リトライ)を2回行います。
● P.55「リトライ設定」



※ 安全機能によりエンジン始動を停止した場合は、再始動(リトライ)は行いません。

・安全機能とは…
シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジションになっていて、エンジンスターターによるエンジン始動が可能な状態であることを確認する機能です。
(● P.11「P・ポジション検出」)

・リトライ動作を行うと
“PT”が点滅し、リトライ動作をお知らせします。



・2回目のリトライ動作でもエンジンが始動しなかった場合
受信音『ピーッピッピッ』が鳴り、“ER”が点滅し、リトライ動作を中止します。



リトライの設定をOFFにした場合も、この表示になります。

警告

車両の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。また、むやみに操作ボタンを押さないでください。

基本的な使いかた

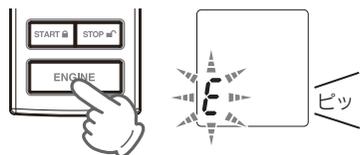
2. エンジンの状態を確認する

エンジンの始動/停止状態の確認ができます。

※ エンジンスイッチでエンジンを始動した場合は確認できません。

2-1 操作確認音「ピッ」が鳴るまでエンジンボタンを押す

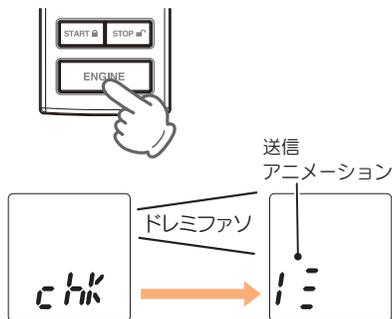
“E”が点滅します。



・リモコンの詳細は…
● P.32「リモコンについて」

2-2 “E”が点滅中(約3秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまで、もう一度エンジンボタンを押す

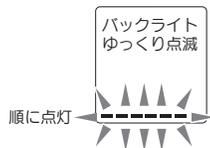
“chk”が点灯し、送信アニメーションが表示され、信号を送信します。



ジャンクションユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

※ 別売品のハザード制御：A-18SF(●P.10)を接続していると、エンジンが始動している場合、ハザードランプが3回点滅します。

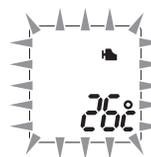
・受信待ちアニメーション
ジャンクションユニットからの信号を待っている間、表示されます。



・エンジンが始動できなかった場合は…
エンジンボタンを2度押すことで始動エラー音を確認することができます。
(●P.60「始動エラー音について」)

車室内温度表示設定を ON にしていると

受信音「ソファミレド」が鳴り、車室内の温度を表示します。



※ 車室内温度表示設定の ON/OFF については、● P.55 を参照ください。

車室内温度表示後、アイドリング時間を表示します

「アイドリング状態」の場合はアイドリング残時間を表示します。
「エンジン停止状態」の場合はアイドリング設定時間を表示します。



「アイドリング状態」の場合



「エンジン停止状態」の場合

3. アイドリング時間を延長する

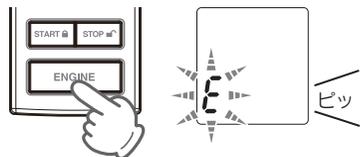
本機によるアイドリング中に、アイドリング設定時間に対して一度だけ 10 分間のアイドリング延長ができます。

次のような場合は、アイドリング時間を延長することができません。

- ・アイドリング時間設定を 30 分にしている場合
- ・アイドリング時間延長操作をすでに 1 度行っている場合

3-1 操作確認音「ピッ」が鳴るまで エンジンボタンを押す

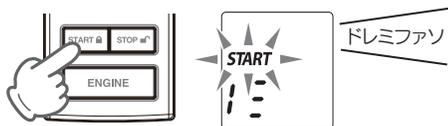
“E”が点滅します。



- ・リモコンの詳細は…
▶ P.32「リモコンについて」

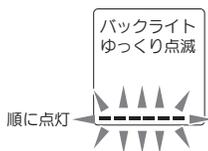
3-2 “E”が点滅中(約 3 秒間)に、 『ドレミファソ』が鳴るまで スタートボタンを押す

“START”が点灯し、送信アニメーションが表示され、信号を送信します。



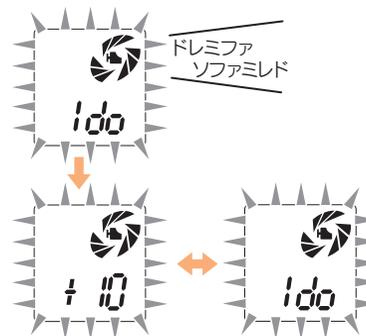
- ・受信待ちアニメーション
ジャンクションユニットからの信号を待っている間、表示されます。

ジャンクションユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。



ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ドレミファソファミレド』が鳴り、“Ido”と“+ 10”の交互の点灯で、アイドリング時間の延長をお知らせします。



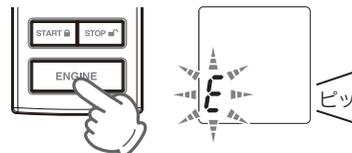
4. エンジンの停止

本機でエンジンを始動させた場合、本機のリモコンでエンジンを停止させることができます。

※ エンジンスイッチでエンジンを始動した場合、リモコンでエンジンを停止することはできません。

4-1 操作確認音「ピッ」が鳴るまで エンジンボタンを押す

“E”が点滅します。

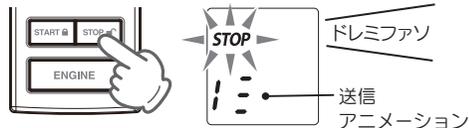


- ・リモコンの詳細は…
▶ P.32「リモコンについて」

4-2 “E”が点滅中(約 3 秒間)に、 『ドレミファソ』が鳴るまで ストップボタンを押す

“STOP”が点灯し、送信アニメーションが表示され、信号を送信します。

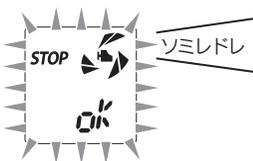




ジャンクションユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音「ソミレドレ」が鳴り、「OK」が点灯し、エンジン停止アニメーションが表示され、エンジンが停止したことをお知らせします。



5. 車両に乗る

安全のため、いったんエンジンを停止させたあと、必ず車両本来の操作（エンジンスイッチ操作など）でエンジンを始動してください。

5-1 リモコン操作でエンジンを停止する

・エンジン停止操作は…
 ◀ P.47「4. エンジンの停止」

5-2 車両本来の操作（エンジンスイッチ操作など）で、エンジンを始動する

走行できます。



6. ドアのロック / アンロック操作

本機のリモコンでドアのロックやアンロックができます。

※ 車両のキーでアイドリングを行っているときは、本機リモコンでドアのロックやアンロックはできません。

別売品のキーレスエントリー：A-17SF（◀ P.10）等の接続が必要です。

※ 車両によっては、別売品のドアロックアダプターやドアロックハーネス等が必要な場合があります。

■ ドアロック

⚠ 注意

- ! 車両のバッテリー上がり、本機リモコンの電池切れまたは故障などの場合、リモコンでドアを開けることができなくなります。車両のキーは必ず携帯してください。
- 半ドア状態でドアロック操作をした場合は、ドアを完全にロックできない場合があります。

6-1 操作確認音「ピッ」が鳴るまでロックボタンを押す

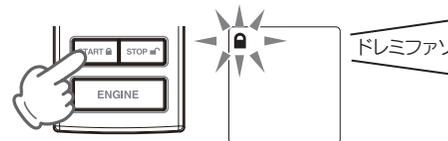
“🔒”が点滅します。



・リモコンの詳細は…
 ▶ P.32「リモコンについて」

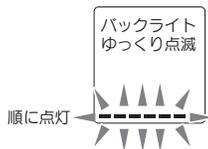
6-2 “🔒”が点滅中（約3秒間）に、『ドレミファソ』が鳴るまで、もう一度ロックボタンを押す

“🔒”が一瞬点灯し、信号を送信します。



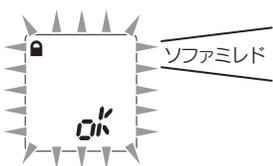
ジャンクションユニットが信号を認識すると、ドアをロックしてリモコンに信号を送り返します。

・受信待ちアニメーション
ジャンクションユニットからの信号を待っている間、表示されます。



ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ソファミレド』が鳴り、“”と“”の点灯で、ドアのロック(施錠)をお知らせします。

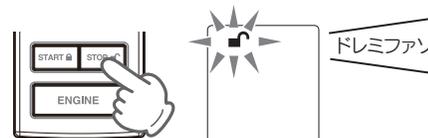


※ 別売品のハザード制御：A-18SF(● P.10)を接続していると、ハザードランプが1回点滅して、ドアのロックをお知らせします。

6-2

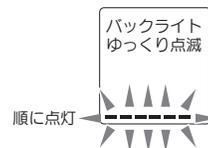
“”が点滅中(約3秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまで、もう一度アンロックボタンを押す

“”が一瞬点灯し、信号を送信します。



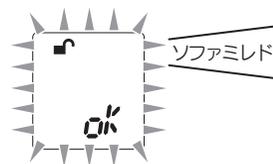
ジャンクションユニットが信号を認識すると、ドアをアンロックしてリモコンに信号を送り返します。

・受信待ちアニメーション
ジャンクションユニットからの信号を待っている間、表示されます。



ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ソファミレド』が鳴り、“”と“”の点灯で、ドアのアンロック(解錠)をお知らせします。



※ 別売品のハザード制御：A-18SF(● P.10)を接続していると、ハザードランプが2回点滅して、ドアのアンロックをお知らせします。

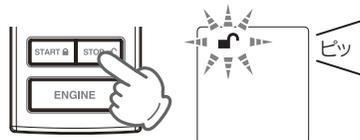
■ アンロック

⚠ 注意

- ・車両のバッテリー上がり、本機のリモコン電池切れ、または故障などの場合、リモコンでドアを開けることができなくなります。車両のキーは必ず携帯してください。
- ・本機のリモコンは、ダブルアクション操作により誤動作を防止していますが、純正キーレスエントリースystemに比べ電波到達距離が長いので、リモコン操作には十分に注意してください。
- ・本機は、オートリロック機能※を搭載しておりませんので、リモコンでドアアンロック後、乗車しない場合は、ドアのロック状態を確認してください。
※ドアアンロック後、ドアを開けない場合、自動的にドアロック(リロック)する機能

6-1 操作確認音『ピッ』が鳴るまでアンロックボタンを押す

“”が点滅します。



・リモコンの詳細は…
● P.32「リモコンについて」

エンジンスターターの設定

本機は車両や季節、気候にあわせて、最適にご使用いただくために、各種設定を設けてあります。

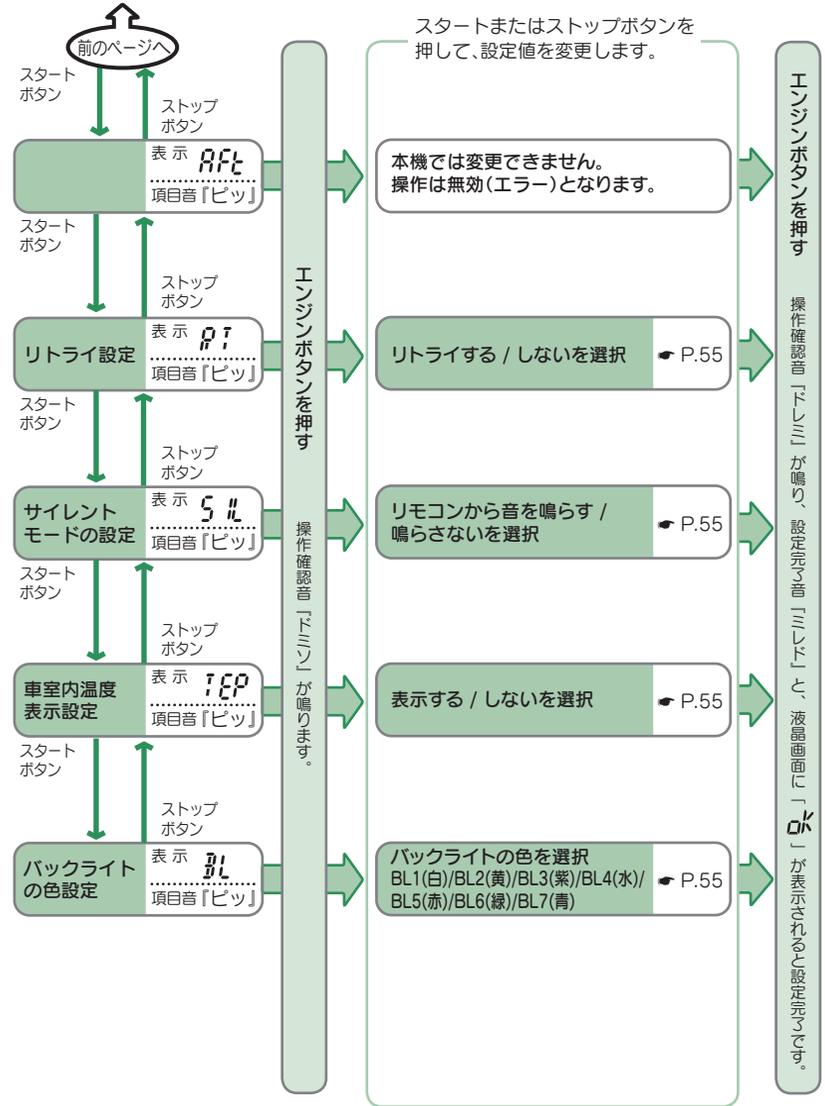
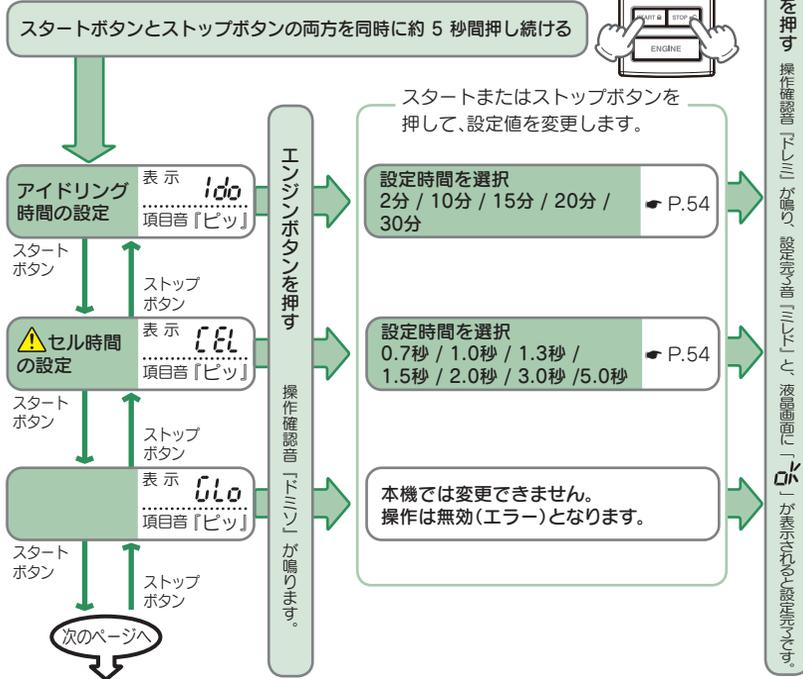
1. 設定項目一覧

⚠ 注意

⚠ マークがついた項目を設定するには専門知識が必要ですので、不用意に設定を変更なさないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモーター焼損など車両の走行に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

ご注意

設定モード中は20秒以上ボタン操作がないと、リモコンからブザー音『ピーピー』が鳴り、変更した内容を記憶せず、設定モードを終了します。



2. 各設定項目の説明

設定時の操作方法は、P.52 を参照ください。

⚠ 注意

⚠ マークがついた項目を設定するには専門知識が必要ですので、不用意に設定を変更なさらないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモーター焼損など車両の走行に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

アイドリング時間の設定

Ido

本機で始動した場合のアイドリング時間を 2/10/15/20/ 30 分の 5 段階から選択できます。

設定時間	音/表示	初期値
2分	「ピッ」/d 2	←
10分	「ピビッ」/d 10	←
15分	「ピビビッ」/d 15	←
20分	「ピビビビッ」/d 20	←
30分	「ビー」/d 30	←

スタートボタン → (右向き) / ← (左向き) / ストップボタン → (右向き)

⚠ セル時間の設定(プッシュスタートスイッチ制御時間)

CEL

車両に合ったプッシュスタートスイッチ制御時間を、0.7/1.0/1.3/1.5/2.0/3.0/5.0 秒の 7 段階から選択できます。エンジンが始動しにくい場合には長めに設定してください。設定には十分ご注意ください。

設定時間	音/表示	初期値
0.7秒	「ピッ」/c 7	←
1.0秒	「ピビッ」/c 10	←
1.3秒	「ピビビッ」/c 13	←
1.5秒	「ピビビビッ」/c 15	←
2.0秒	「ビー」/c 20	←
3.0秒	「ビービッ」/c 30	←
5.0秒	「ビービビッ」/c 50	←

スタートボタン → (右向き) / ← (左向き) / ストップボタン → (右向き)

リトライ設定

PT

1 回でエンジン始動できなかったときに、再始動(リトライ)を自動的に 2 回まで行います。

設定値	音/表示	初期値
リトライする	「ピッ」/On	←
リトライしない	「ピビッ」/OFF	←

スタートボタン → (右向き) / ← (左向き) / ストップボタン → (右向き)

サイレントモードの設定

SIL

リモコンからのすべての音を「鳴らす / 鳴らさない」から選択できます。鳴らさない設定にすると、液晶画面のみでお知らせします。

設定値	音/表示	初期値
鳴らさない	「ピッ」/On	←
鳴らす	「ピビッ」/OFF	←

スタートボタン → (右向き) / ← (左向き) / ストップボタン → (右向き)

車室内温度表示設定

TEMP

リモコンに表示される車室内温度の ON/OFF が設定できます。

※ 同梱品の温度センサーが未接続の場合は、正しい温度が表示されません。設定を「OFF」にしてご使用ください。

設定値	音/表示	初期値
表示する	「ピッ」/On	←
表示しない	「ピビッ」/OFF	←

スタートボタン → (右向き) / ← (左向き) / ストップボタン → (右向き)

バックライトの色設定

BL

リモコンに表示されるバックライトの色を設定できます。

設定値	音/表示	初期値
BL1(白)	「ピッ」/BL 1	←
BL2(黄)	「ピビッ」/BL 2	←
BL3(紫)	「ピビビッ」/BL 3	←
BL4(水)	「ピビビビッ」/BL 4	←
BL5(赤)	「ビー」/BL 5	←
BL6(緑)	「ビービッ」/BL 6	←
BL7(青)	「ビービビッ」/BL 7	←

スタートボタン → (右向き) / ← (左向き) / ストップボタン → (右向き)

エンジンスターターの特殊設定

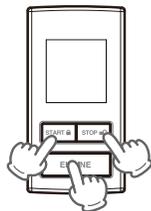
本機は一部の特殊な車両でご使用いただくために、各種設定機能を設けてあります。

1. 設定項目一覧

ご注意

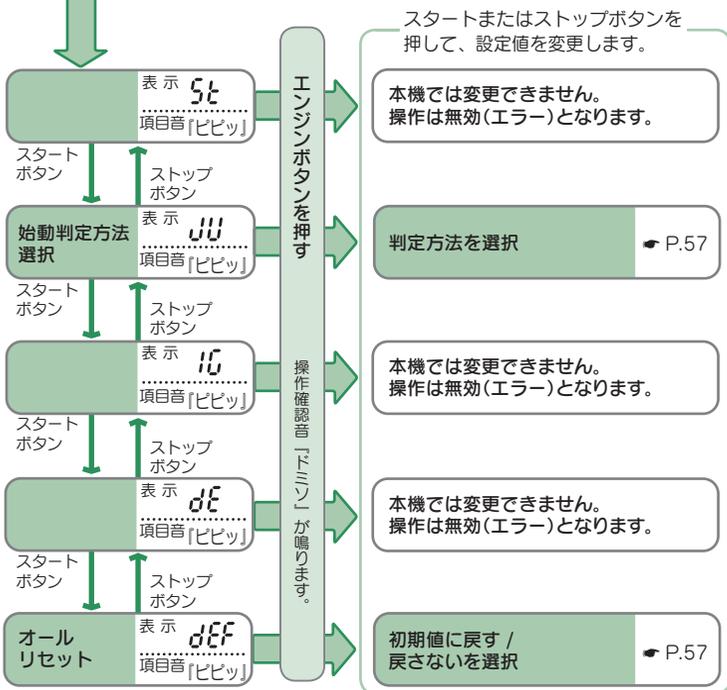
設定モード中は20秒以上ボタン操作がないと、リモコンからブザー音「ピーピーピー」が鳴り、変更した内容を記憶せず、設定モードを終了します。

スタートボタンとストップボタン、エンジンボタンの3つを同時に約5秒間押し続ける



エンジンボタンを押す

操作確認音「トレミ」が鳴り、設定完了音「ミレト」と、液晶画面に「OK」が表示されるまで設定完了です。



2. 各設定項目の説明

設定時の操作方法は、▶P.56 を参照ください。

始動判定方法選択



本機でエンジン始動後、エンジン始動判定方法を選択できます。エンジンが正常に始動したにもかかわらず、約1分程度で停止してしまう場合に、設定を「J0(特殊判定)」に変更してご使用ください。

※ 特殊判定を選択した場合、エンジン始動に失敗しても、アイドリング設定時間の間、車両の電源がONとなることがあります。

	設定値	音/表示	
スタートボタン	通常	「ブッ」/ JJ	ストップボタン
	特殊判定	「ブブッ」/ J0	

■ : 初期値

オールリセット



エンジンスターターの設定(▶P.52 ~ 57)をすべて初期値に戻します。

	設定値	音/表示	
スタートボタン	初期値に戻す	「ブッ」/ CLR	ストップボタン
	初期値に戻さない	「ブブッ」/ 5Et	

■ : 初期値

故障かな?と思ったら

操作ボタンを押してもリモコンの液晶画面が表示されない

- 電池が消耗していませんか。
新しい電池と交換してください。
- 電池が正しく入っていますか。
正しく電池をセットしてください。



リモコン操作でエンジンが始動または停止できない

- スリープ機能が動いていませんか。
一度、エンジンスイッチ操作でエンジンをかけてください。
- シフトレバーがパーキング(P)ポジションになっていますか。
- 専用ハーネスのヒューズが切れていませんか。
- エンジンスターターが正しく設定されていますか。(● P.52)
- 車両と離れすぎていませんか。
電波の届く範囲内で操作を行ってください。
- 車両のバッテリーが弱っていませんか。
バッテリーを充電するか、新品と交換してください。バッテリーを交換した場合には、P・ポジション検出が必要です。
- エンジンスイッチ操作でエンジンが始動しますか。
始動しない場合は車両の点検をしてください。
- エンジンスイッチでエンジンを始動していませんか。
エンジンスイッチ操作でエンジンを停止してからリモコン操作でエンジン始動を行ってください。
- ジャンクションユニットからエラー音が鳴っていませんか。
エラー音を確認してください。(● P.60)

リモコン操作がエラーになる

- バッテリー交換しましたか。
バッテリー交換後はP・ポジション検出が必要です。(● P.30)
- 車内で『ピピピッ ピピピッ』音が鳴っていませんか。
P・ポジション検出を行ってください。(● P.30)
- 電池が消耗していませんか。
新しい電池と交換してください。



リモコン操作できる距離が短い

- リモコンのアンテナ部を手で覆っていませんか。
アンテナ部に手を触れないで操作してください。
- リモコンの電池が消耗していませんか。
新しい電池と交換してください。
- 車両とリモコンの間に障害物がありませんか。
障害物のない場所から操作してください。

リモコンの操作音が鳴らない

- エンジン始動・停止・状態確認操作時に押すエンジンボタンを長押ししていませんか。
エンジンボタンを短く(約1秒)押しして操作を行ってください。
- サイレントモードの設定が「ON」になっていませんか。
設定を「OFF」にしてください。(● P.55)

バッテリー交換後、車内で『ピピピッ ピピピッ』音が鳴っている

故障ではありません。バッテリー交換後はP・ポジション検出が必要です。(● P.30)

始動エラー音について

本機によるエンジンスタートが動作しない場合は、エンジン始動失敗後にジャンクションユニットから鳴る音(エラー音)により、不具合状況を確認できます。

本機の動作に不具合があったときは、この「エラー音」を確認して、取り付け店または弊社で相談窓口にお問い合わせください。

※ エンジン始動失敗後、次にエンジン始動操作を行うまでの間は、リモコンのエンジンボタンの2度押し(エンジンの状態確認操作)を行うことで、ジャンクションユニットから、もう一度エラー音を鳴らすことができ、不具合状況を確認できます。

エラー音	不具合の検出
ピピピッ ピピピッ ピピピッ	Pポジションの検出ができていません。(P.30)
ピー ピッ ピッ	エンジンスターター動作中断時 ブレーキ検出
ピー ピッ ピッ ピッ	エンジンスターター動作中断時 ドア検出
ピー ピー	エンジンスターター動作中断時 電圧異常
ピー ピー ピッ	エンジンスターター動作中断時 オルタネータ異常
ピー ピーピッ ピッ ピッ	エンスト検出
ピー ピー ピー	エンジン始動異常

仕様

実用通信距離：最大 1,200m(市街地)

電波到達距離：最大 3,300m(妨害の少ない河川道路)

※ 実用通信距離は一般的な電波環境での目安であり、通信距離をお約束するものではありません。

電波の届かない地下や屋内では表記通信距離より短くなることがあります。

※ ファンモーターなどのノイズの大きな車ではエンジンを始動させる時に比べ、停止させる時の方が短くなることがあります。

■ リモコン

適合技術基準	特定小電力無線局 テレコントロール用無線設備
送受信周波数	429MHz 帯
送信出力	10mW 以下
使用電池	リチウム電池 CR2025 × 2
動作温度範囲	- 10℃ ~ + 50℃
寸法	31(W) × 60(H) × 13(D)mm (突起部含まず)
重量	約 27g(電池含む)

■ ジャンクションユニット(アンテナ内蔵)

適合技術基準	特定小電力無線局 テレコントロール用無線設備
送受信周波数	429MHz 帯
電源電圧	12V 車専用(DC9 ~ 16V)
送信出力	10mW 以下
消費電流	スリープ時：約 5mA 以下 待機時：約 10mA 以下(平均)
動作温度範囲	- 30℃ ~ + 85℃
寸法	119(W) × 33(H) × 60(D)mm (突起部含まず)
重量	約 91g

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM や ® などの記号を記載しない場合があります。

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は当社ホームページにてご確認ください。

<http://www.yupiteru.co.jp/>

アフターサービスについて

■ リモコンを紛失や破損したとき

リモコンを紛失や破損したときは、新しいリモコンを登録(有償)することができます。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

※ リモコンは取り寄せ品となるため、ご来店当日の登録ができない場合があります。あらかじめご了承ください。

本書に従った、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書に従って修理いたします。

また、本機取り付けによる車両や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

● 保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げの日から3年間です。(リモコンは1年、電池等消耗部品を除く)

● 対象部分

機器本体(消耗部品は除く)

● 修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」(P.58)で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○ 保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○ 保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※ 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

● 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

● 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

● 紛失等による同梱品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9:00 ~ 17:00 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター  0120-998-036

お客様ご自身の取り付け作業に対するサポートは行っておりません。

